

波 紋

1993 **5** 第95号

森松マンは、皆んな
悩んで大きくなった!!



近藤 珠美

失敗した事も、泣いた事、おこられた事、悩んだ事、今思うと沢山ありました。今でももちろんあります。この事があったからこそ自分が大きくなっていくと思えます。

新入社員の皆さん、どんどん悩んで大きくなって下さい。

平成二年四月二日
私は、この日森松へ入社致しました。今年には四人の方が入社され、新入社員の方をみますと、まだ本社が建設中の時、私は入社しその頃の事務所は「要」でした。
毎朝、電車、バス、徒歩で通い今と同様、掃除から一日が始まり、今日は何をするのだろうと不安ばかりでした。でも、先輩方から仕事を教えていただく様になってから少し安心感をもてる様になり不安感はだんだんなくなってきました。

●交差点

「5S」の現状

以前よく読まれ、ベストセラーになった本で、「気働きのすすめ」がありました。
先日の研修会で田井村次長のシクラメンサークルより「5S」の話と「自信を持つて仕事をしましょう」という目標が出ました。
私はその場で皆さんに掃除の話をしました。が、自分で実際、職場なりトイレなり機械、自動車を清掃してみると、色々な事がわかります。色々な事に気が付き、発見がありました。

まず自分をその現場に身を置いてみると、今までずっと気が付かず見過ごしてきた自分にびっくりします。

研修会場のトイレ、風呂場のスリッパの件も、頭で思っているのと実際、行動で示す事との差がある事に気が付いた人も多いと思います。

森松の現状もいろいろな面で皆さんが考えている事と現実の行動面にギャップがあります。今の現実の問題点をさらけ出し、自覚、認識する事がまず第一番目にやる事ではないかとつくづく思います。

自分自身の事は自分が知っているつもりでしょうが、案外自分の事は半分ぐらいしか知っていないのが人間です。

口は一つで耳は二つ、人の話をよく聞いて自分をもう一度よく考え見つけてみよう。

普通の事を普通に出る。

当り前の事を普通に出来る人間になりたいものです。

森 信之

トシ君の一方通行 「転勤」

3月であるとか、4月でありますと、転勤のシーズンの様です。

私共の取り引き先の方も5名みえまして、それぞれ社員の方が歓送会を行なっている様であります。お世話になりましたから、感謝の気持ちをささやかではありますが、表わしております。

転勤というのは、将来森松には関係する時がくると思いますが……………。

先般、ある会社の部長さんですが、今迄6回転勤を繰り返したそうで、引越し貧乏といひまして、大変経費がかさむそうであります。又、新しい所へ行きますと、それなりに気苦労もあるとの事です。子供の学校の事等大変であると思ひます。しかし、その部長さんこう言ひました。今でも大変良かったと思ひます、その先々で必ず家族ぐるみで今でも付き合っている人達がいる。それが私の財産である……………。

考え方一つで行動一つでこの様に素敵な思ひ出を作れるんですね、森松がお世話になつた5名の方の転勤していかれる方達とも、今後出来る限り交流を続けて頂きたいと思ひました。どこへ行かれても頑張つて頂きたいと思ひます。

木村 英利

森松クインテット 「時の流れに身をまかせ」

「時の流れに身をまかせ……………」という歌がある。とても「楽」そうな歌だと思ふ。何でもそうだが、「身をまかせろ」という事は、やっぱり「楽」である。「楽」ではあるが「楽しい」かと考えたら疑問である。人間には「考える」という能力があるが、「身をまかせろ」という状態は、それを放棄している状態ではないか、と思ふ。ようするに自分を放棄している事になる。それでもいい、という人は別にして、自分をみつめ、周囲をみつめ、社会をみつめ、世の中の不平等に気が付けば、「流れに身をまかせろ」という事の恐ろしさに気が付くはずである。本当の意味での「楽しい」という事が少しずつ見えてくるはずである。

これからの会社というものは、ひとつの課題を100%遂行する社員は普通の社員で、課題そのものを考え出してくれる人が必要である。会社組織の活性化はそういう社員が多いか、少ないかで決まる、という話を耳にした事があるが、これも会社が「楽」か「楽しい」かという事になつてくるのではないだろうか。ただひとつ「身をまかせろ」のが「楽」で「楽しい」事があるとすれば女房の前くらいかな……………。

牧野 光昌

喜怒哀楽 「仕事の段取り」

明日やるべきことを、今日のうちに決めておく事は、とりあえず一歩だけ踏み出し、明日のスタートを早くする事が大切です。

仕事を、効率よくこなしてゆくためには、優先順位を考え、重要なものから片づけていき、又、すぐに出来るものからやる。

仕事は、やらされるものではなく自分からすすんでやる。

自分の段取りとしては、まず配送明細を書き前日に準備出来る荷物は、その日にトラックに積み込み当日は、追加分だけ積むようにしています。

前日に準備した時と、当日に準備した時では、会社を出発する時間が約一時間ちがってきます。朝は、なるべくバタバタせず、時間の余裕をもって、仕事をやるようにしています。

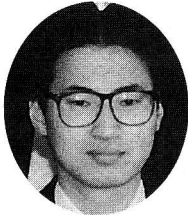
「自分の仕事を追え、仕事に追われてはならない。」



大橋 康成

新入社員紹介

僕が森松に入社して、もう一ヶ月がたちました。毎日が初めて経験する事ばかりで、時間がたつのがとても早く感じられます。研修期間中に、アキレスさんの滋賀工場や、加工場の方を見学させて頂きまして、大変いい勉強になりました。大阪で、再生ビニールを一年間学びましたが、まだまだ勉強不足だと、つくづく思いました。



金子 清道

平成五年四月一日に入社しました加藤美佐子です。三月二十五日に新入社員研修が始まり、最近やっと社内の雰囲気慣れてきた様な気がします。五日に辞令が出され、私は営業部配属になりましたが、まだ自分の机についていたのはほんのわずかなので、自分の仕事内容が全然分かりません。これから順に仕事を覚えて早く皆様の役に立てるように頑張りたいと思います。



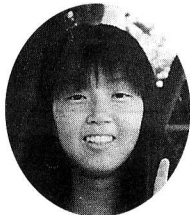
加藤美佐子

研修期間にいろいろな話を伺ったり、工場見学に連れて行っていただいたりして感じたことは、一口に「ビニール」といってもいろいろな種類があり、様々な物に使われていて、多くの人の手にかかっているんだという驚きでした。これから社会人としての自覚を持って、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

私が、たくさんある会社の中から森松を選んだ理由は、社内の雰囲気などの会社よりも和気芥々としているな、と感じたからでした。でも、自分がこの森松に相応しいのだろうかと考えると、すごく不安でした。

研修が始まり、少しずつ森松での日常を送り始めると、みなさんがとても親切にして下さるので、とても落ち着いた気持ちで毎日過ごせました。また、ビニールの知識についてや、社会人・人間としてどうあるべきかを教えて頂き、とても勉強になりました。

毎日が新しいことばかりで、まだ仕事のことよくわかっていませんが、自分なりに努力して、一日も早く「森松マン」に相応しい人間になりたいと思います。みなさん、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、がんばりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



竹田 沙織

研修を含め森松マンの一員となつて数週間がたちました。入社前は何かにつけて不安でしたが、今は一日がとても短く感じる程充実しています。

私は森松産業総務部に配属となりました。といひましても、配属先で仕事をするようになってから数日しかたつていないので自分の部の仕事内容でさえ把握しきつてない状態です。今ほとにかく仕事を覚えたいです。そして、もっともつと挑戦して吸収したいと思ひます。皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご指導よろしくお願ひいたします。



谷口 香

平成5年 5月の社内行事

- 1日(土) 第一土曜日休み
- 2日(日) 大和田さん誕生日
- 5日(水) 長沢さん誕生日
- 7日(金) 幹部研修会 十三時
- 〃 編集会議 十八時
- 8日(土) 第二土曜日休み
- 11日(火) 誕生会 正午
- 15日(土) 幹部研修会
- 17日(月) 改善委員会 十八時
- 18日(火) 素麺会 十七時
- 〃 西垣さん誕生日
- 24日(月) 中神さん誕生日
- 25日(火) 経営会議 十四時
- 〃 営業会議 十八時
- 27日(木) 伊藤雅典さん誕生日

暮らしのエッセイ

先日、運動嫌いの篤志(長男)が、突然鉄棒(逆上り)の練習を始めた。何か理由があるのだろうかと思ひ尋ねてみたところ、二日後に学校の体育の授業で、鉄棒(逆上り)のテストがあるとの事でした。テスト前の二日間は、朝六時に起きて公園で鉄棒の練習をした。学校・スイミングスクール・珠算塾に通いながら、その合間を縫って公園へ足を運んでいた様です。自分では、一生懸命やっていたのですが、その成果が上がらない為、そのいらいは頂点に達してしまいました。テスト前日最後の夕食時には、「手や胸が痛い」と言いながらも、「夕食を食べたらもう一度公園に行って練習をする」とも言っていました。しかし、夕食後には、死んだ様に寝てしまっただのです。かなり疲れている様だ。二日間ではあるが、子供なりに本当に良く頑張ったと、誉めてあげたい気持ちになりました。

鉄棒のテストの当日、練習では出来なかった逆上りが、初めて出来て本当に喜んで学校から帰ってきました。篤志は、生まれた時から体が弱く、左胸の軟骨一部欠損というハンディを負っている現段階では手術不可能の為、運動はあまり好きでない様です。今回の小さな出来事(一生懸命練習をした事・逆上りが出来た時の喜び)を忘れずに、自分の体のハンディをバネにして、大きな人間に育ってほしいと思います。私自身も子供に負けない様に、精一杯頑張りたいと思います。

村田恒夫

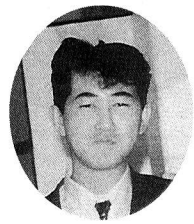
クイズ

〈4月号の答え〉

□に入る一字は、子です。



円道陽子



谷澤 亨

※正解者の方には、商品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

編集後記

私が入社したのは去年の4月1日。今年、2年生になりました。1年間が慌ただしく過ぎ、回りに流されたいもつかめないまま過ぎたように思います。今は、まだその延長線上に自分は居ます。このまま、もう一年また一年と過ごさないように、何かの資格を取るか、趣味を作る、習い事をするなどとにかく今年は、本当に自分のやりたい事を見つけ、目標を持ち生活していきたいです。

辻中 まさえ



編集発行者 森松株式会社

発行責任者

谷澤 亨
円道 陽子

平成5年5月1日
第95号